

み

ん

な

の

文

芸

短歌 全16首

緊急放流ダムからFAXキャンプ場巨大台風特別警報

秋の澄んだ空気は、遠いものを近くに見せ物音や人の声をよく響かせます。作
者は秋の日差しの中で札所三十四番、水滸寺の中から聞えて来る御詠歌が体に染
み入るのを感じたことでしょう。風景が見える良い句だと思います。

二句目。想定外の災害で沢山の尊い命が奪われてしまった今年。被災者に思いを
馳せ、心痛める作者。来年は平穏な年でありますように祈ります。三句目。忙しい
一日が終り増えた皺の手を撫でながら来し方を懐かしむ秋の夜のひととき。年の
重みが感じられる句です。

未曾有なる惨事の多き年送る